

令和8年度(2026年度)文化財担当者研修予定表

R7.9.8

課程名	副題	定員	日程	内容・取得できる技術	分野	文化財類型	備考	申込
文化的景観調査計画課程	地域に継承される文化遺産とそれらの関係性を総合的に捉える	10名	2026/6/3 水 ～ 2026/6/5 金	(内容) 文化的景観の保護制度、地域の文化遺産を総合的に理解するための調査手法、それらを保存活用するための計画立案等についての基礎を習得することを目的とする。弱体化する地域社会の中で、行政や住民自身が地域の生活・生業の仕方やその環境に潜む歴史文化の豊かさや魅力に気づき、それらを自然基盤を含めた背景から読み取っていくための方法、また、それらのストーリーを活かした地域づくりや観光振興を支援すること等に関心を持つすべての方を対象とする研修。 (取得できる技術) 文化的景観の調査計画に関する基礎的知識	文化的景観、地域計画	文化的景観		3月頃募集開始予定
文化財石垣保存整備(講義)課程	城跡等の石垣の保存活用に関する基礎的研修の講義	50名	2026/6/10 水 ～ 2026/6/12 金	(内容)近年の大規模地震等による城郭石垣等の被災・復旧を踏まえ、文化財石垣の保存活用に必要な専門的知識や管理活用事例などについて、地方公共団体の担当者としての基礎的な知識を、オンライン講義を通じて習得する。 (取得できる技術) 石垣の保存整備に関する基礎知識	考古学、遺跡整備	記念物(史跡)、埋蔵文化財	共催：石川県金沢城調査研究所 オンラインによる実施	3月頃募集開始予定
文化財石垣保存整備(実習)課程	城跡等の石垣の保存活用に関する基礎的研修の実習	10名	2026/6/15 月 ～ 2026/6/17 水	(内容) R6年度・R8年度文化財石垣保存整備(講義)履修を受講した者を対象 に、金沢城跡をフィールドに石垣の技法・変遷・変状の観察、石材加工の技法を実習を通じて学ぶ。 (取得できる技術) 石垣の調査法に関する基礎知識	考古学、遺跡整備	記念物(史跡)、埋蔵文化財	共催：石川県金沢城調査研究所 開催地：金沢市	3月頃募集開始予定
建造物保存活用基礎課程	文化財建造物の保存と活用に必要な基礎的研修	10名	2026/6/22 月 ～ 2026/6/26 金	(内容) 文化財建造物の保存活用に携わるために必要な知識として、建築史、保存制度、活用、防災、耐震などについて、講義と実地見学を通して学ぶ。 (取得できる技術) 文化財建造物の保存活用に関する基礎的知識	建築学	有形文化財(建造物)、伝統的建造物群		4月頃募集開始予定
文化財知的財産権課程	文化財画像類の刊行物利用やデジタルアーカイブ化と段階的権利処理実務の進め方	15名	2026/7/15 水 ～ 2026/7/17 金	(内容)文化財のデジタルアーカイブ構築と刊行物利用における著作権・肖像権等の権利処理実務を体系的に学びます。図録・報告書等の刊行物制作、権利者調査、許諾取得から、デジタル公開、オープンデータ化、二次利用まで事例を交えて習得。文化財の保護・活用に必要な知的財産権の知識とスキルを身に付けます。 (取得できる技術) 知的財産権	文化財学、歴史学	有形文化財、埋蔵文化財	オンライン併用による実施	4月頃募集開始予定
遺跡調査技術研究課程(中級編)	ジオ・アーケオロジーの視点から導入する遺跡調査技術と解析法	20名	2026/9/28 月 ～ 2026/10/2 金	(内容)発掘調査に伴って明らかとなる地質表層部の情報を活用し、遺跡・遺構の構築背景や、遺跡周辺の環境変遷をより深く理解するための調査技術や解析方法について学ぶ。 (取得できる技術) 発掘調査の成果について、より発展的に活用するための調査技術の導入や、調査計画立案に向けた知識の習得	ジオ・アーケオロジー、文化財計測学	埋蔵文化財、有形文化財		6月頃募集開始予定
環境考古学応用課程(分析結果の総括)	動植物遺体の分析結果を総括して、遺跡を評価する	12名	2026/10/6 火 ～ 2026/10/8 木	(内容) 発掘調査報告書を編集する際、動植物遺体の分析結果をきちんと総括し、遺跡を評価するために必要な知識を習得する。 (取得できる技術) 自然科学分析の総括に必要な知識や留意点	動物考古学、植物考古学	埋蔵文化財		6月頃募集開始予定
保存科学(金属製造物)課程	実務に活かす保存処理と展示・保管環境調整の知識と技術	12名	2026/10/19 月 ～ 2026/10/23 金	(内容) 金属製造物の保存処理を実施または外注する際の方法や仕様の選定、ならびに金属製造物の展示・保管環境の調整といった、現場での実務をおこなう上で必要な知識および技術について、実習を交えながら学ぶ。 (取得できる技術) 金属製造物の保存および環境調整に関する基礎知識	保存科学	有形文化財(考古資料等)、埋蔵文化財		6月頃募集開始予定
文化財写真課程	文化財各分野の写真記録に必要な基礎知識とデジタル写真を中心とした実習	15名	2026/11/24 火 ～ 2026/12/4 金	(内容)文化財の記録保存と活用において中心的役割を持つ写真記録について必要不可欠な写真技術の基礎知識と、デジタル写真を中心とした実習を通じて実技を習得する研修。 (取得できる技術) 文化財の写真記録に関する基礎知識～技術	文化財写真、文化財学、歴史学	有形文化財、埋蔵文化財	3課程は連続して実施	8月頃募集開始予定
報告書作成基礎課程	知っておいて損はない、報告書づくりの基礎知識	24名	2026/12/7 月 ～ 2026/12/11 金	(内容)文化財の調査記録に必要な報告書について、出版物を見ながら、調査の意義や作成した記録成果を効果的にまとめるための基礎知識を習得する研修。 (取得できる技術) 発掘調査報告書等、記録作成に関わる基礎知識	考古学、情報学、写真学等	埋蔵文化財主体に文化財全般	3課程は連続して実施	8月頃募集開始予定
報告書デジタル作成課程	楽して精度を高める、デジタル技術を活かした報告書づくり実践法	15名	2026/12/14 月 ～ 2026/12/18 金	(内容)報告書に必要な編集知識や図版制作について、デジタル技術を活用しながら出版物作成をおこなうための実践的な技術を習得する研修。 (取得できる技術) 報告書編集と図版制作に伴う実践的技術	考古学、情報学、写真学等	埋蔵文化財主体に文化財全般	3課程は連続して実施	8月頃募集開始予定
文化財三次元計測課程(初級編)	発掘調査の現場に効く！文化財フォトグラメトリの基礎	15名	～	(内容) 発掘調査現場における記録の選択肢としてフォトグラメトリを追加できるようにする。そのため文化財調査のためのフォトグラメトリ等の三次元計測方法の基礎と実技を習得する。また開講地域が抱える三次元計測関係の課題について解決に向けた方法を検討する研修(開催地域には参加優先枠を設定する。) (取得できる技術) 文化財三次元計測の基礎。発掘調査現場で使うフォトグラメトリに関する知識と技術	文化財行政、考古学	有形文化財、埋蔵文化財	日程は開催希望地域と相談の上、決定。期間は3日間程度。 ※素文研外での開催を予定 開催希望地域を募集中です。	詳細が決まり次第募集開始予定

※1 研修参加決定通知は研修開始日の約1か月前に通知の予定です。
※2 文化財写真課程・報告書編集基礎課程・報告書デジタル作成課程は、続けて受講することができます。
※3 最新情報はウェブサイトで随時お知らせいたします。